

会期：平成30年2月10日(土)、11日(日)

会場：幕張国際研修センター(東都医療大学 幕張ヒューマンケア学部) シンポジウムホール

2月10日(土)

13:00～ 井村真澄 会長挨拶

【13:20～15:20 パネルディスカッション 職人技術の伝承 普遍性と変革】

13:20～14:00 基調講演1

職人技術の伝承 宮大工・日本伝統建築技術保存会 会長 西澤 政男氏

14:00～14:40 基調講演2

助産師の技の伝承 日本助産師会 会長 山本 詩子氏

14:40～15:00 講演(話題提供)

助産師教育における助産技術教育と変遷 亀田医療技術専門学校 熊澤 美奈好氏

15:00～15:30 パネルディスカッション①

「職人技術の伝承 普遍性と変革」

パネリスト 西澤政男氏・山本詩子氏・熊澤美奈好氏

セッションコーディネーター 熊澤美奈好氏(亀田医療技術専門学校)

<休憩10分>

【15:40～17:20 【ワークショップ 子宮頸がん検診における検査を助産師教育に取り入れるために】

15:40～16:20 講演 「子宮頸がんの発生機序と検査方法・結果のフォローアップ」

埼玉医大総合医療センター 准教授 長井 智則氏

16:30～17:30 子宮頸がん検診 検体採取演習

※希望者 定員30名 会場を移動

※別途募集 詳細配信

2月11日(日)

【9:30～12:20 助産師の職業継続性と岐路そして今・未来ー助産師のキャリア形成と未来】

9:30～11:20 パネルディスカッション② 「助産師の職業継続性と岐路そして今・未来」

パネリスト 臨床で働き続ける

久瀬川 幸世(深谷赤十字病院)

助産院で働き続ける

矢島 愛(矢島助産院)

非常勤になり働き続ける

谷野 祐子(大森赤十字病院)

国際的な活動をする助産師

中村 悦子(独立行政法人 国際協力機構)

セッションコーディネーター 現在、人選中

11:20～12:20 教育講演

「将来のキャリア形成につなぐ意志ある学びを実現するために」

シンクタンク未来教育ビジョン 代表 鈴木 敏恵氏

<昼食60分>

【13:20～15:30 パネルディスカッション③ 助産師教育における硬膜外麻酔分娩を考える】

13:20～14:00 講演

「日本の硬膜外麻酔分娩の現状と事故の解説から見えてくる課題」

埼玉医大総合医療センター 産科麻酔科教授 照井克生氏

14:00～15:30 パネルディスカッション③ 「助産師教育における硬膜麻酔分娩を考える」

麻酔科医の立場から

埼玉医大総合医療センター 産科麻酔科教授 照井克生先生

臨床助産師の立場から、硬膜外麻酔分娩を選択した女性へのケアから見えてくる課題

現在、人選中

ジャーナリストとして女性と助産師の立場の両方を見たときに見えてくる課題

河合蘭

助産学教員の立場から、米国での硬膜外麻酔分娩のケア経験も踏まえて見えてくる課題と論点の整理

大石時子

セッションコーディネーター 大石時子(高崎健康福祉大学大学院)

15:30～16:30 資格専門能力委員会主催 講演会

「助産師国家試験プール問題の作成について理解を深める」厚生労働省医政局看護課 看護教育指導官

16:30 研修会閉会